

大網白里市家庭教育支援チーム (児童館 めく森くらぶ)



大網白里市家庭教育支援チーム（めく森くらぶ）は、2005年から活動を開始し、20年にわたり、子どもや保護者の安心できる居場所づくりに取り組んでいます。保護者を対象とした継続的な教育相談はもとより、子どもたちへの日常的な学習支援や遊び支援を行っています。

「自分の責任で学び・遊ぶ」、「生きる力（心身ともに健やかに育つ子どもの力）を備える」を基本理念としています。

チーム・活動の体制

- ◇活動開始年月：2005年4月
- ◇活動拠点：千葉県大網白里市
- ◇活動範囲：市内全域
- ◇チームのメンバー：3人
(元教員2人、放課後児童クラブ支援員1人)
- ◇連携機関等：大網白里市子育て支援ネットワーク協議会、大網白里市子ども会育成連絡協議会、市子育て支援課・生涯学習課・地域づくり課、その他地域ボランティア組織



活動の対象

- 妊婦とその家族
- 乳幼児期 ■小学生 ■中学生 ■高校生以上の子供を持つ保護者・家庭
- その他 ()

活動場所

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校
- 社会教育施設 福祉施設 保健センター等 企業
- 家庭（訪問等） オンライン ■その他（民営児童館）

アピールポイント！！

- ☑子どもエコクラブ活動として地域で「環境活動」や「防災体験活動」を実施。
- ☑千葉自然学校の会員校として、保護者も交えた「自然観察」や「天体観察」などを幅広く実施。
- ☑児童館の菜園で、子どもたちと有機野菜を栽培。
 - ⇒食育の推進
 - ⇒家庭にも「食の大切さ」を周知。



その他の活動内容

「家庭教育や養育に関する悩み相談」

元教員の経験を持つスタッフが、児童を迎えるに来る保護者とコミュニケーションをとったり、電話での相談に応じたりするなど、相談しやすい関係づくりに心掛けています。相談には真摯に寄り添い、継続的な支援に努めています。

「学習支援」

小学校と連携を図り、子どもの状況に合わせながら、学習支援をします。
できるだけ、児童館で宿題を済ませることで、各家庭への負担軽減を図ります。



「遊び支援」

サッカー、ごっこ遊び、本読み、工作など様々な活動が自由に展開されるよう活動の場を提供します。異年齢集団の中での関わりを通して、遊ぶ力を高め、よりよい人間関係づくり（他人の喜びや痛み悲しみがわかる）を育ませます。



成果と今後の展望

地域では「ぬく森くらぶ」の存在が広く認知され、家庭教育を支える重要な役割を担っています。また、公設の学童保育で定員漏れが生じた際には、家庭が安心して子どもを預けられる受け皿としても機能しています。さらに、子どもたちが地域活動に参加することで、家庭だけでは育みにくい「社会性」や「生活力」が養われ、家庭教育の充実にも寄与しています。今後も「ぬく森くらぶ」が地域の拠点として、家庭教育を支える多様な取り組みを推進し、子どもたちがより豊かに成長できる環境づくりを目指します。